

武蔵野総合病院・キャリアラダー ～役割実践能力・自己教育/研究能力(各レベルの実践能力)～

2021.4.21作成 /4.22 承認

定義	レベル	I	II	III	IV	V
	レベル毎の定義	責任の最も軽い・難易度の最も低い、軽微な組織の役割を果たす。チームメンバーやルーンワークの係の役割を遂行できる。	所属する部署で、日常的な組織的役割を遂行できる。ディリーダーや夜勤リーダー、委員会のリンクナースの役割を遂行できる。	所属する部署・組織におけるリーダー（チームリーダーやサブリーダー、委員会におけるリーダー的役割等）として、創造的能力を要求される係の役割を遂行できる。	病棟運営や看護部運営の責任の一部を担い、専門的な能力を必要とする役割、指導的な役割（学生指導・主任・副師長）を遂行することができる。	病棟運営や看護部運営、病院運営にもその責任を問われる役割を遂行することができる。
役割実践能力	目標管理	【レベル毎の目標】	組織の一員であることを自覚し、行動することができる。	所属する部署の自己の役割を理解し、自ら行動することができる。	所属する部署、看護部における自己の役割を理解し、自ら行動することができる。	看護部、病院組織における自己の役割を理解し、自ら行動することができる。
		【行動目標】	☐ 看護部の理念や目標、部署の目標が理解できる。 ☐ 指導を受けながら、部署目標の為に自己目標を設定し、行動できる。	☐ 看護部の理念や目標、部署の目標を理解し、チームにおける自己の役割が説明できる。 ☐ 部署目標の為に自己目標を設定し、行動できる。	☐ 部署目標からチーム目標を設定し、具体的計画を立案することができる。 ☐ 管理者のサポートを受けながら、チーム目標にそった活動をメンバーと共に実践できる。 ☐ 委員会の目標を理解し、委員会目標の為に自己目標を設定し、行動できる。	☐ 部署の課題解決にむけた目標の設定、計画、実施、評価ができる。 ☐ チーム目標を達成するために、チームリーダーをサポートすることができる。 ☐ 委員会の責任者とともに、目標の設定、計画、実施、評価ができる。
	物品管理	【レベル毎の目標】	物品を安全に取り扱うことができる。	物品を安全に取り扱うことができ、故障や不具合の際の対処ができる。	部署の安全な物品管理をメンバーへの指導ができる。	安全性、効率性を考えた部署の物品管理ができる。
		【行動目標】	☐ SPDカードシステムを理解できる。 ☐ 指導を受けながら、物品の管理、療養環境の整備ができる。 ☐ 物品の使用目的を理解し、手順に沿った使用ができる。	☐ 物品の管理、療養環境の整備ができる。 ☐ 物品の使用目的を理解し、無駄な消費がないように使用ができる。 ☐ 故障や不具合があった場合、報告し、修理依頼をすることができる。	☐ 物品の管理、療養環境の整備がメンバーへ指導できる。 ☐ 部署における物品の管理、療養環境の整備が正しく行われているか、確認することができる。 ☐ 故障や不具合があった場合、その原因を検索し、報告することができる。	☐ 部署における物品の管理、療養環境の整備の現状を把握し、問題点を見出し、管理者と共に改善できる。 ☐ 故障や不具合があった場合、その原因を検索し、再発防止策を立案、実施できる。 ☐ 安全性や効率性から物品の提案が看護部にできる。
	情報管理	【レベル毎の目標】	指導を受けながら、守秘義務や個人情報保護に関する規則を守り、情報を扱うことができる。	守秘義務や個人情報保護に関する規則を守り、情報を扱うことができる。	守秘義務や個人情報保護のリスクを考え、事故防止にむけた行動ができる。	守秘義務や個人情報保護に関する規則、情報管理に関し、メンバーへ指導することができる。
		【行動目標】	☐ 守秘義務や個人情報保護に関する規則が理解できる。 ☐ 指導を受けながら、基準に沿った記録ができる。 ☐ 指導を受けながら、報告・連絡・相談ができる。	☐ 守秘義務や個人情報保護に関する規則を理解し、そのための行動ができる。 ☐ 基準に沿った記録ができる。 ☐ タイムリーに報告・連絡・相談ができる。	☐ 守秘義務や個人情報保護に関する規則を理解し、そのリスクを考え、行動ができる。 ☐ 基準に沿った記録をメンバーに指導することができる。 ☐ 報告・連絡・相談をメンバーに指導することができる。	☐ 守秘義務や個人情報保護に関する規則を理解し、そのリスクからメンバーに指導ができる。 ☐ 効率性と質の高い記録ができる。また、そのための指導ができる。 ☐ 他部署、多職種へも適切な報告・連絡・相談ができる。
	時間管理	【レベル毎の目標】	基本的な時間管理ができるとともに、指導を受けながら、優先順位を考えて行動することができる。	優先順位を考えて行動することができる。	効率的に行動するとともに、チームメンバーが円滑に業務が進められるように支援することができる。	部署の効率性を考え、業務改善に取り組むことができる。
		【行動目標】	☐ 業務が円滑に開始できるように、余裕を持って行動できる。 ☐ 指導を受けながら、優先順位を考え、決められた時間の中で業務を進めることができる。 ☐ 期限や時間をまもり、研修・会議に 参加することができる。	☐ 優先順位を考え、決められた時間の中で業務を進めることができる。 ☐ 期限や時間が守れるように、自ら相談や連絡、調整ができる。	☐ メンバーが優先順位を考え、決められた時間の中で業務を進めることができるように、支援することができる。 ☐ 管理者とともに、チーム活動をするためのスケジュール管理、時間管理ができる。	☐ 優先順位を考え、決められた時間の中で業務を進めることができるモデルとしての行動ができる。 ☐ 部署の業務の現状を把握し、問題点を見出し、管理者と共に改善できる。 ☐ 部署運営・チーム運営が円滑に進めるためのスケジュール管理、時間管理ができる。
定義	レベル	I	II	III	IV	V
	レベル毎の定義	指導を受けながら、自己の教育的課題を発見することができる。	自己の教育的課題達成に向けた教育活動を展開することができる。	自己の教育活動に積極的に取り組むことができる。指導を受けながら、指導的役割を実践することができる。	自己の教育活動に積極的に取り組むとともに教育活動について、指導的な役割を実践することができる。	単独で専門的領域や高度な看護技術について自己の教育活動を展開することができる。組織的研究活動を実践できる。
自己教育/研究能力	自己啓発	【レベル毎の目標】	指導を受けながら、自己の課題を明確にし、学習を進めることができる。	自己の課題を明確にし、学習を進めることができる。	自己のキャリアをふまえた課題を明確にし、積極的に学習を進めることができる。	自己のキャリアをふまえた課題を明確にし、積極的に学習を進めることができる。
		【行動目標】	☐ 院内・病棟内の決められた研修に参加できる。 ☐ 指導を受けながら、日々の学習を進めることができる。	☐ 院内外の決められた研修に参加できる。 ☐ 研修での学びを、自己の看護実践に活かすことができる。 ☐ 自ら、書籍やeラーニング等活用できるツールを用い、自己学習を進めることができる。	☐ 部署の専門性や役割から自己の課題を明確にし、院内外の研修に参加できる。（例：埼玉県看護協会の研修） ☐ 研修での学びを、自己の看護実践とともに、メンバーへの指導に活かすことができる。 ☐ 部署の勉強会の企画・運営に参加している。	☐ 看護の専門性や役割課題の達成に向けた研修に参加している。 ☐ 自己のキャリアアップのための研修に自ら参加している。 ☐ 研修での学びを看護の質向上につなげることができる。 ☐ 研修に参加を呼びかけ、学習する雰囲気を作ることができる。
	教育/指導	【レベル毎の目標】		基本的な看護手順にしたがい、自らの経験をふまえた後輩指導ができる。	新人・メンバーへの日々の指導ができる。	教育担当者として、長期的視野に立った部署メンバーの教育・指導ができる。
		【行動目標】		☐ 基本的看護手順を指導できる。 ☐ 自らの経験から助言ができる。 ☐ 新人教育におけるプリセプターとしての役割を担うことができる。	☐ 新人教育のアドバイザーとしての役割を担うことができる。 ☐ 日々のメンバーへの指導ができる。	看護部の教育計画にそった、人材育成ができる。 ☐ 看護部の教育計画の企画・運営ができる。 ☐ 部署の教育担当者の指導ができる。 ☐ 多職種に対しても教育・指導ができる。
	研究	【レベル毎の目標】	自己の看護実践の疑問や問題意識を持ち、振り返ることができる。	指導を受けながら、看護研究に参加することができる。	部署における看護研究に取り組むことができ、院内で発表できる。	自己の疑問から看護研究に取り組むことができ、院内外で発表ができる。
		【行動目標】	☐ ケースレポートとしてまとめることができる。 ☐ ケースレポート発表会に参加している。	☐ 指導を受けながら、先輩とともに看護研修に参加する。 ☐ 院内の看護研究発表会に参加している。	☐ メンバーと共に看護研究を行う。 ☐ 看護研究に関わる学習を自ら進めることができる。（看護研究研修の参加、eラーニングの活用、指導者からの指導） ☐ 院内の看護研究発表会や学会へ参加している。	☐ 看護研究に自主的に取り組むことができる。 ☐ 研究の成果を日常の看護に活かすことができる。 ☐ 院外で発表できる。